

開倫塾の自己学習スペースで  
午後から夜10時30分(東京は10時)まで毎日勉強、  
業者模試・定期テスト・3大検定で高得点を確保しよう!!

開倫塾  
塾長 林 明夫

Q：開倫塾では、塾の授業のある日もない日も毎日、開倫塾の自己学習スペースで午後から夜10時30分(東京は10時)まで自学自習することを、すべての塾生に奨励しているそうですね。なぜですか。

A：開倫塾の塾生である間に、自分の夢や希望の実現に向けて、「自分から進んで学ぶ力(自己学習能力)」を少しずつでも身に付けてもらいたいからです。

\*開倫塾では、開倫塾で学ぶすべての皆様を「塾生」とお呼びしています。これは、慶應義塾大学で学ぶすべての学生を「塾生」と呼ぶのと全く同じです。

Q：なぜ、塾の授業のある日もない日も、午後から夜10時30分(東京は10時)までなのですか。

A：(1)「業者模試」や「学校の定期テスト」で全教科100点満点を取り、「3大検定」で合格点を取るためには、各々の試験の直前に数日間勉強しただけでは不十分だからです。

\*「3大検定」とは、「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」の3つの検定のことです。

(2)1つ1つの試験は、1～2か月前から準備をして、はじめてよい点数が取れます。

(3)そこで、開倫塾では、授業などで使っていない机・椅子(いす)を自己学習スペースとして、先生方の勤務時間である午後から夜10時30分(東京は10時)まで塾生の皆様に開放。塾の授業のある日もない日も、「業者模試対策」や「全9教科の定期テスト対策」「3大検定対策」のために最大活用していただこうと考えたのです。

Q：1学期の定期テスト対策はいつから行ったらよいのですか。

A：(1)「定期テスト対策」は、学校から教科書をいただいたその日から行うことが、全9教科100点満点を取る秘訣です。ゴールデンウィークが終わるまでに1回目の勉強を終える。そして、5月に入ったら、2回目、3回目の勉強をテスト前日まで繰り返すことです。

(2)学校の「教科書」「問題集」「教材」「授業ノート」を、テスト範囲について「スミからスミまで」よく勉強して「理解」し、よく覚えてすべて「定着」させれば、誰でも全9教科100点満点を取れます。

(3)定期テスト2か月前から全9教科の勉強をスタートさせ、何回も何回も教科書をやり直し、「スミからスミまで」頭の中に入れること。「スミからスミまで」、これが全9教科100点満点を取るポイントです。

Q : 「スミからスミまで」ですか。「3大検定」はどうしたら合格できますか。

A : (1) 塾生別の「3大検定年間受験予定表」に基づいて、検定の2～3か月前から猛ダッシュで勉強すれば必ず合格します。

(2) 受験申し込みを早めにするのを絶対にお忘れなく。

(3) 3大検定もゴールデンウィークが終わるまでに1回目の勉強をし終わると、合格がぐっと身近になります。

(4) 開倫塾では創業以来、塾生の皆様の「成功の実現」のために、学年相応級以上の3大検定の取得を奨励。全力を傾け、合格のための指導を行っています。

\* 塾生別の「3大検定年間受験予定表」に基づいて、毎学期、1つずつ取得することをおすすめしています。

Q : 「9教科の定期テスト」や「3大検定の3つの検定」の勉強を、開倫塾の自己学習スペースで午後から夜10時30分(東京は10時)まで塾の授業のある日もない日も毎日してよいのですか。

A : (1) はい。「業者模試」でよい偏差値を取り、「定期テスト」で全9教科100点満点を取り、「3大検定」に毎学期1つずつ挑戦するには、年間を通してコツコツと勉強し続けることが大切です。

(2) ぜひ、開倫塾で授業のある日もない日も午後から夜10時30分(東京は10時)まで自学自習に励んでください。

(3) そして、開倫塾で学ぶ間に「自分から進んで学ぶ力(自己学習能力)」を身に付けてください。上の学校に進学したときや、社会に出てから必ず役に立ちますよ。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 自己学習スペースで学ぶことの中に、「辞書・新聞・読書」に親しむことも入れてください。辞書や新聞、本をカバンの中に入れて、毎日持参し、どんどん活用、読み進めてください。すべての教科の基本となる「読解力」が身に着きます。

(2) 開倫ユネスコ協会の「文芸大賞(小説・童話、詩・短歌・俳句、エッセイ、デザイン・イラスト、新聞スクラップ、書道など)」の作品づくりも、創造力を育む大切な勉強です。ここで大いに行ってください。

(3) 「効果の上がる学習方法」である「学習の3段階理論」を示した「塾生ハンドブック2022」も毎日1回は読み、「自分なりの勉強の仕方」を考えて工夫し続けましょう。では、がんばってください。

— 2022年4月11日記 —